

科 目 名	医療薬剤学特論					
担 当 教 員 名	教授 山村 恵子 教授 山本 浩充 教授 鍋倉 智裕 教授 國正 淳一 講師 浦野 公彦 講師 小川 法子	単位数	講義 2	配当学期	秋学期	
講 義 の 概 要	医薬品の適正使用や多剤投与等による副作用回避には医療薬剤学の知識と製剤学的観点からの技術の修得が必須となる。本特論では、医薬品適正使用を推進するための評価・解析方法、食品と医薬品の相互作用を防止するための評価・製剤学的な解析方法、医療現場における薬剤師の安全管理活動、セルフメディケーションを推進するために必要な薬剤師の評価と介入、疼痛回避のための局所麻酔薬の特殊製剤デリバリーの現状と展開、薬物の体内動態・薬効に及ぼす変動要因の解析およびと薬物輸送担体の機能評価・解析方法について修得する。(オムニバス方式/全 15 回)					
講 義 の 内 容 ・ スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品適正使用を推進するための評価・解析方法 2. 食品と医薬品の相互作用を防止するための評価・解析方法 3. 医療現場における薬剤師の安全管理活動 4. セルフメディケーションを推進するために必要な薬剤師の評価と介入 5. 後発医薬品の開発と臨床使用 6. 健康食品の成分解析 7. 在宅療法における薬剤管理 8. 後期高齢者の薬剤選択における評価 9. 抗凝固療法における医薬品管理と服薬指導 10. 認知症患者における医薬品管理と服薬指導 11. 透析患者における医薬品管理と服薬指導 12. 障害を持つ患者とその介護者のための薬剤選択と服薬指導 13. 疼痛回避のための局所麻酔薬の特殊製剤デリバリーの現状と展開 14. 薬物の体内動態・薬効におよぼす変動要因の解析 15. 薬物の体内動態に関わる輸送担体の機能評価・解析方法 					
評 価 方 法 (基 準 等)	レポート (50%)、口頭による質疑応答 (日本語・英語) (50%)、及び出席状況 (2/3 以上の出席日数) による総合評価					